

様式第1号

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第1回所沢市立所沢図書館協議会
開催日時	令和6年7月10日（水）午前10時00分～12時00分
開催場所	所沢市役所 7階研修室
出席者の氏名	喜多濃定人、齋藤千里、河本直子、針生清美、高橋順、高橋宏司
欠席者の氏名	猪口茂、秋本敏、及川道之、藤本浩志
説明者の職・氏名	
議 題	<p>(1) 第3次図書館ビジョン策定について（諮問）</p> <p>(2) アンケートについて</p> <p>(3) 第3次図書館ビジョン素案について</p> <p>(4) その他</p>
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回所沢市立所沢図書館協議会次第</li> <li>・ 所沢図書館協議会委員名簿</li> <li>・ 市民アンケート（抜粋版）</li> <li>・ 市民アンケート（カラー版）</li> <li>・ 第4所沢市子どもの読書活動推進計画</li> <li>・ 児童文学講演会チラシ「絵本と鳥の巣のふしぎ 一鳥の巣が教えてくれること―」</li> <li>・ 臨時休館のお知らせ</li> <li>・ 第3次所沢市図書館ビジョン（素案）</li> </ul>
担 当 部 課 名	<p>教育委員会 部長 千葉裕之</p> <p>                  次長 池田淳</p> <p>所沢図書館 館長 橋本浩志</p> <p>                  主査 下村恵利子      主査 小澤朋子</p> <p>                  主査 荒井英子      主査 本橋佐和</p> <p>                  主査 金子大敏      主査 吉田隆幸</p> <p>                  主任 星拓伸</p> <p style="text-align: right;">所沢図書館 電話 04-2995-6311</p>

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p><b>1 開 会</b></p> <p>図書館協議会について、事務局より概要の説明 欠席委員と教育長欠席の報告</p>
部 長	<p><b>2 委嘱状の交付</b></p> <p>令和6年3月をもって退職された学校教育関係の委員に代わり着任した高橋委員へ委嘱状の交付。猪口委員へは後日事務局から送付予定</p>
部 長	<p><b>3 挨拶</b></p> <p>部長挨拶</p>
委 員	<p><b>4 自己紹介</b></p> <p>委員名簿に沿って委員、次いで事務局職員の自己紹介を行う</p>
事務局	<p>規定により、副会長が会長代理を務める旨を説明</p>
会長代理	<p>会長代理より挨拶</p> <p><b>以下、会長代理が議長となり進行</b></p>
会長代理	<p>協議に先立ち、会議の公開については、規定により原則公開となっている。この会議について公開としてよろしいか。</p>
委 員	<p>（委員一同了承）</p>
会長代理	<p>議事録の記録方法について要点筆記とすること、発言者について「委員」とのみ記載されること、会議録の署名人を河本委員、高橋委員とすることとしてよろしいか。</p>
委 員	<p>（委員一同了承）</p>

会長代理	傍聴者の確認をお願いしたい。
事務局	※傍聴者 4 名
会長代理	傍聴者へ注意事項について説明がなされる。
事務局	資料の確認
	<b>5 議事</b>
	<b>(1) 第3次所沢市図書館ビジョン策定について (諮問)</b>
部 長	議事に先立ち、教育総務部長から所沢市立図書館協議会へ諮問書の交付が行われる。
会長代理	諮問書の交付に当たり、事務局への質問・意見はあるか。
委 員	(質問・意見は無し)
	<b>(2) アンケートについて</b>
事務局	事務局から、アンケート調査結果について説明 「第3次所沢市図書館ビジョン」の策定にあたり「第2次図書館ビジョン」に基づく図書館サービスの進捗状況を確認するために、市民・小学生・中学生・高校生を対象としたアンケート調査を実施。所沢図書館市民アンケート調査結果について、事前に郵送している。 第3次ビジョンに掲載予定の抜粋版について報告する。 (抜粋版の内容と各設問について、事務局より説明を行う)
会長代理	ここまでの内容について質問・意見はあるか。
会長代理	図書館にてオーディオブックの取扱いはあるか。
事務局	令和6年3月から導入している。
委 員	アンケートの設問については、昨年度の会議で検討をして、分かりやすくなった。「図書館サービスについて知っていますか」という内容ではレファレンスや学校連携サービス、障害のある方へのサービス、団体貸出等のサービスを知らないという割合が顕著に多く現れている。これらの結果を踏まえて今後の改善点に結びつけてもらいたい。

委 員	小学生へのアンケート調査は、小学5年生を対象にしているが、集計結果はアンケート調査に回答してくれた小学生の手に渡っているのか。
事務局	調査結果については、この図書館協議会終了後に図書館のホームページにて公開する予定である。また、アンケートに協力いただいた学校に連絡する形で周知としたい。
委 員	ホームページでの公開だと、アクセスしないと見る事が出来ないため、ハードルが上がるのではないかと。アンケートを実施した学校に対し、結果について通知する等の方がよいのではないかと。アンケート調査に回答した子どもにとっても、自身が回答した調査がどのような形で反映されていくかが分かった方が図書館に対する興味を持ってもらえると思う。
事務局	紙の削減の問題もあるが、意見を頂いたことから学校側と相談をしたうえで公表の仕方について考えていきたい。
会長代理	ホームページに掲載するのとあわせて、学校に紙媒体の調査結果の送付を行っているということによろしいか。
事務局	前は紙媒体での送付も行っていたが、今回は紙の削減の課題もありホームページでの周知を考えていた。意見を頂いたことと、児童に1人1台のパソコンが配布されていることもあるため、工夫して周知に努めていきたい。
会長代理	子どもたちが一生懸命答えてくれたものであることから、1人1台のパソコンの活用も含めて周知に努めていっていただきたい。
事務局	<b>(3) 第3次所沢市図書館ビジョン素案について</b> 事務局から、素案の第1章について説明
会長代理	説明のあった第1章1～6について、質問・意見はあるか。
委 員	(質問・意見は無し)
事務局	事務局から、第2章①②について説明
会長代理	ここまでの内容について、質問・意見はあるか

<p>委員</p>	<p>素案 12 ページの「市民のつながりや交流の場として図書館を活用できるよう～」に関連して、以前柳瀬分館に勤務していた司書でお子さんに積極的な声かけを行っていた方がいたという話を、図書ボランティアから聞いたことがある。その方によれば、お子さんの名前も覚えており、利用時に本もたくさん探してもらったことに感動したとのこと。</p> <p>私自身、柳瀬分館で図書ボランティアをしており、「おはなし会」を年2回程度やっていた。柳瀬小のお母さんとお子さんたちの中に「おはなし会」に参加していた方がいて、今はボランティアの活動に参加してくれている。長い目で見るとその時はそんなに成果があるとは思えないことでも、時間をかけて成果に結びついていると思っている。目先のことだけではなく、少し人の心に触れるようなものをビジョンに盛り込めたらよいのではないかと。</p>
<p>事務局</p>	<p>柳瀬分館における、子どもとの関わりや児童の名前を覚えていたこと、本の紹介があったことなど日頃の活動が来館者の増加につながっている事例と思われる。図書館ビジョンの内容につなげていきたいと考えている。</p>
<p>会長代理</p>	<p>「暮らしを支える」の中に、もっと利用者に寄り添い適切な提供が出来るような、また本に対するただのレファレンスではなく色々なつながりができるような相談や、関わりが持てるようなビジョンを描いていった方がいいのではないかと。江戸川区にある「読書のすすめ」という書店では、来る人が皆本の話をする。本に対して話をしていってその人たちが本に興味を持って本の話を通してつながっていく。そういうのを目指していけると良いと思っている。何かそういうものがビジョンに入っていけば良いと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>「未来を支える」にも関係することだが、「暮らしを支える」の課題の初めに「レファレンスサービスを利用したことがない、または知らない市民も多いため、利用促進を図る必要があります。」とある。アンケートの結果にも出ていたかと思うが、公共図書館でレファレンスサービスを利用しようと思うところに行きつくには小中高生が学校図書館できちんと調べ学習を経験して「図書館に行けば、知らないことを調べられる」ということを実感として持って成長していかないと公共図書館のレファレンスサービスには結びつかないのではないかと。</p> <p>どのような形で課題に書いてもらえればよいか即答できないが、学校図書館を利用する子どもたちの調べ学習についての資料を公共図書館からもっと連携を進めていただいて、レファレンスサービスの土台を作るような形を進めていただければいいかなと感じている。私も明峰小学校の蔵書管理のボランティア作業を行っていたが、学校は短時間勤務の司書しかいないことから学校の蔵書</p>

<p>委 員</p>	<p>を点検して管理する事が非常に大変な作業であり、ボランティアがいないと成り立たない。また、調べ学習に使う資料も古くなってもなかなか買うことが出来ないため、公共図書館の側からも学校の現状を知っていただきたい。資料の充実についても支援していただきたい。</p> <p>委員から話があったとおり、本校においても学校司書は週2日の出勤であるため、現状として蔵書の管理で手一杯となっている。</p> <p>調べ学習の資料の不足については、1人1台のパソコンが配布されていることからパソコンで調べてしまうというのが多くなってきている。本校としても課題だと考えていたことから、低学年と高学年で分かれていた図書室を1つに統合し、低学年のうちから図書室に慣れ親しめるような環境を整えた。</p> <p>児童が手に取った本が、漢字ばかりで読めなくても、写真があつて面白いと思うところからも本に興味を持つのではないか。そういう意味でも低学年の時期に図書室に行き、どこに何があるかを知るというのは大事だと思っている。また、学校司書に毎日来ていただき、「図書室に行けば司書がおり、図書室に行けばいろいろなことが聞ける。」という環境を整えたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>「未来を支える」でも説明は行うが、本館では小中学校に伺った際に学校連携についての案内をしている。学校連携サービスには、学校団体貸出で調べ学習に対応した貸出、学級文庫への貸出などもあるためご相談いただきたい。周知の不足も感じる状況であるため、周知の方法についても検討していきたい。</p>
<p>会長代理</p>	<p>他に質問・意見はあるか。</p>
<p>委 員</p>	<p>(質問・意見は無し)</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局より、基本目標③「読書を支える」及び基本目標④「地域を支える」について説明</p>
<p>会長代理</p>	<p>この項目について、質問・意見はあるか。</p>
<p>委 員</p>	<p>基本目標③「読書を支える」の課題に、「駅から近く利用が多い店舗の取り次ぎ終了」とあるが、取次が終了した理由はなにか。</p>
<p>事務局</p>	<p>コンビニエンスストアについては、元々8店舗で実施していたが、閉店や人員不足などの店舗側の理由により中止せざるを得なかった。取次中止になった店舗の近隣店舗へ交渉を進めているが、現状として新しく実施してくれる店舗</p>

<p>委員</p>	<p>は見つかっていない。</p> <p>基本目標③「読書を支える」の(1)「読書活動の推進」内に、高齢者ケアに役立つ本のリストの話が出ている。私も民生委員の関係で介護予防のサロンを毎月やっているが、ここ何年か高齢者の介護予防のための健康体操やレクリエーションで使える本が増えている実感がある。高齢者自身がどの程度利用しているかは分からないが、支援している側からしてみれば役立つ資料が増えている実感がある。発達障害を扱った資料についてのリスト等も窓口に配備されていることが多く、大変参考になっている。今後も継続してほしい。</p>
<p>会長代理</p>	<p>モニタリングで行った際も資料が仕分けされており、分かりやすくなっている印象であった。リスト等も見やすくなっていることから、今後も維持してもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>基本目標③「読書を支える」の(3)「図書館利用の促進」内に、「埼玉県西部地域まちづくり協議会に日高市が加わり相互利用を開始した。」とある。所沢市と日高市の広報にお互いの市のイベント情報を載せているが、これがどう図書館利用の拡大につながっているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>「埼玉県西部地域まちづくり協議会」において公共施設の相互利用ということで、日高市にお住まいの方も所沢市の利用券を作成することができ、所沢市民も日高市の図書館で利用券を作成することができる。所沢市でも講演・講座の開催時には、入間市などの近隣自治体にお住まいの方でも参加できるようにしている。</p>
<p>委員</p>	<p>少々わかりにくく、周知されにくいのではないかと。</p>
<p>事務局</p>	<p>記載については指摘のとおりであるので、書き方については事務局で検討したい。</p>
<p>会長代理</p>	<p>今まで所沢市・狭山市・入間市・飯能市が加入し相互利用を行っていた「埼玉県西部地域まちづくり協議会」に、日高市が新しく加わったことで、日高市でも相互利用が出来るようになったということによりよろしいかと。</p>
<p>事務局</p>	<p>お見込みのとおりである。</p>
<p>会長代理</p>	<p>他に、質問・意見はあるか。</p>

委員	(質問・意見は無し)
事務局	事務局から、基本目標⑤「未来を支える」について説明
会長代理	説明のあった箇所について、質問・意見はあるか。
委員	<p>(2) 「地域・学校等の連携による推進体制の整備」の中で、「保健センター(現：こども家庭センター)と連携して健診時の読み聞かせと絵本と引き換え出来るチケットを配付している」とある。前回の協議会でも話した内容であるが、交換できる絵本が毎年同じであることから、選書について見直していただきたい。また、何かしらの目的があると思うが、その場で絵本を渡さず、後日交換できるチケットを渡す方法についても再検討をお願いしたい。</p>
事務局	絵本は一部変更する予定である。また、渡し方については、意見として承り担当課と共有する。
委員	<p>学校の先生方との連携があってもよいのではないかと思う。この会でも先生方の参加もあり学校の話もよく出るが、現場の担任をしているような先生たちが図書館に来てくれているのか、図書館のことをよく分かってくれているのかというところがもうひとつ伝わってこない。また、分館と本館の役割分担について本館独自のなにかが打ち出せてもよいのではないか。一番大事なものは基本のサービスであるが、普段分館で学習活動を行っている子どもたちが、本館に行ってみようと思うような特徴を一つ持ってもらえればと感じる。</p>
事務局	<p>学校との連携について、学校図書館と公共図書館との違いというのも一つある。公共図書館と学校図書館とつながりが全くないわけではなく、「子どもの読書活動推進計画」の策定等で学校関係者とは関わっており情報交換は日頃から行っている。学校司書の経験が浅い方についても、学校教育課と連携し研修会を行うなどしてスキルアップのための取組を行っている。</p> <p>分館と本館の関係について、分館は指定管理ということで運営しており、本館は分館の司令塔としての役割を担っている。どの分館においても均一で質の高いサービスを受けられることを目標としてモニタリングなどを行っている。(本館に特徴を持たせる)一例として挙げられていた「航空公園の中の飛行機を使う」などの仕掛けや図書館見学については、これからも考えていかなければならないと思っている。</p>
事務局	先ほどの質問について、学校連携の方で補足を行いたい。「子どもの読書活

	<p>動推進計画策定」については先ほど申し上げたとおりであるが、それ以外に毎年「子どもの読書活動推進連絡会」を年3回開催しており、この中でも学校関係者と連携している。また、小学生対象に図書館見学を行っており、本館は1階に電動書庫があることもあり人気となっている。学級訪問として小学3年生の学級へ訪問を行う際には、学校司書や先生方に図書館が行っているサービスについて案内するなど周知に努めている。</p>
委員	<p>先ほどの事務局の説明にあったように、小学校3年生への学級訪問や特別支援学級へのブックトーク、学校貸出などを行っている。また、過去には図書館見学の実施なども行ったが、学校現場の疲弊から教員に本を読む余裕がない状態となっている。加えて、市外から通勤している学校職員も多く、地元の図書館は行っても所沢の図書館には行っていないケースもあるかと思う。もうすぐ夏休みの時期でもあるので、教員にも図書館の良さを再認識できるような夏休みにしてもらいたいと考えており、働きかけを行っていきたい。</p>
会長代理	<p>先ほどの学校の担任の先生というところでフォーカスを当てていくと、担任の先生が「人生の中で影響を受けた本」というのはあると思っている。そういう本を紹介したり、先生が夢やビジョンを語ったりすると子どもたちが感化されて、その本を読んでみようとなるかもしれない。担任の先生という子どもたちにとって身近な人が読んだ本というところで、トークショーのようなイベントをしてみても面白いのかもしれない。</p> <p>他に、ビジョン内に「ボランティア」と記載が多数あるが「ボランティア」という表現の仕方ではなく、きちんとした「係の方である」との名称をつけてもよいのではないか。ボランティアだと、学校などへ来ていただいて一生懸命支えてくれている方だと理解されないのではないか。きちんとした理解をもらうためにも、ボランティアという名称ではなく他の名称に変えていってもよいのではないか。</p>
会長代理	<p>他に質問・意見はあるか。</p>
委員	<p>(質問・意見は無し)</p>
事務局	<p>事務局から、(6)「推進に向けた運営の施策」について説明</p>
会長代理	<p>この箇所について、質問・意見はあるか。</p>
委員	<p>(質問・意見は無し)</p>

事務局	事務局から、第3章の1及び2の内容について説明
会長代理	この内容について、質問・意見はあるか。
委員	(質問・意見は無し)
会長代理	その他、事務局から何かあるか。
事務局	アンケートについて訂正する。アンケートについて、「紙ベースで学校へ知らせた」と説明したが、正しくは「ホームページにて公表した旨について、電子メールにて伝えた」である。
委員	「第4次子どもの読書活動推進計画」のパブリックコメントの期間があったと思うが、パブリックコメントにて出た質問とその回答をしたのかについて委員もホームページを見る必要があるのか。あるいは、別途説明の機会を設けてもらえるのか。
事務局	本日は用意がないため、ホームページにて確認願いたい。
会長代理	「次回の図書館協議会時に説明する」ということはないのか。
事務局	「第4次子どもの読書活動推進計画」のパブリックコメントの箇所について、本日は時間がないことから次回の協議会にて報告させていただきたい。
会長代理	他に質問・意見はあるか。
委員	(質問・意見は無し)
会長代理	本日の議事がすべて終了したことから、進行を事務局に戻すこととする。
事務局	事務局から、以下の事項について報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第4次子どもの読書活動推進計画」について</li> <li>・8月4日開催予定の児童文学講演会について</li> <li>・本館の臨時休館の概要と休館期間中のサービスについて</li> </ul>
事務局	<b>6 次回協議会の日程について</b> 第2回図書館協議会の開催を、9月下旬から10月上旬頃に予定したい。

会長代理	7 閉会挨拶 8 閉会
------	----------------